

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

No. 73

エントリー学校名：福岡県 古賀市立花見小学校

活動名：

カリマネは地域教材が1番
 家庭と地域と連携・協働のPDCA

解決すべき課題：

- 教育課題…児童の交流・発言力と自尊感情が低く自分に自信をもてないこと
- 経営課題…地域教材を開発して授業づくりをする職員の経験不足

目標・方針：

- 目標…児童が地域に働きかけることで、交流・発言力と自尊感情を高めることができるようにする。
- 方針…次の2つの手立てによって目標を達成する。

- 1 学校・家庭・地域(校区コミュニティ)が連携・協働したPDCAサイクルの教育活動……………(資料1)
- 2 生活科・社会科の学習において地域のもの・ひと・ことを活用した地域教材の開発

活動内容：

- 1 PTA組織を改編し、従来のPTAにC(校区コミュニティ)を加え、PTCAとした。更に、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の会長を校区コミュニティの会長に兼務してもらった。
- 2 学校・家庭・地域(校区コミュニティ)が連携・協働したPDCAサイクルによる教育活動
 - (1) Plan(計画)→地域のもの・ひと・ことを活用を中核に据えた学校経営方針を、家庭と地域にも共有してもらうために、PTCA総会と校区コミュニティ総会で説明した。……………(資料2)
 - (2) Do(実践)→○学校では、地域教材を活用した授業づくりと実践○家庭と連携・協働した花見小フェスティバル○地域と連携・協働した松原清掃と松苗記念植樹……………(資料3)
 - (3) Check(評価)→○学校では、授業協議会で授業評価○家庭による評価として、授業参観や花見小フェスティバルの保護者アンケート○地域による評価として、学校関係者評価委員会での協議……………(資料4)
 - (4) Action(改善)→次年度の教育目標の策定と教育課程の見直し

活動の成果：

- 児童の交流の力と自尊感情が高まってきた。……………(資料5)
- 生活科・社会科の学習で地域のもの・ひと・ことを活用した地域教材が開発され、授業改善が進んだ。
- 校内で実践した地域教材が、「古賀市版小中学校地域教材事例集」の作成へ発展……………(資料6)

アピールポイント(アイデアや工夫)：

- 校区コミュニティ会長を学校運営協議会の会長としたことと、PTAの組織に校区コミュニティを地域(C)としてPTAに組織を加え、PTCAとしたことで、学校・家庭・地域で教育目標を共有化し、連携・協働しやすくなった。
- 学校・家庭・地域の視点でPDCAサイクルに学校の取組をあてはめたことで、カリキュラム・マネジメントの考え方が職員へ浸透しやすくなった。
- 市内の小中学校の実践も一緒に「古賀市版小中学校地域教材事例集」としてまとめ、本校の地域を活用した実践が市内全域の小・中学校へ広がった。

(資料1) 教育課題と学校・家庭・地域のPDCA



(資料2) 教育目標を学校・家庭・地域が共有



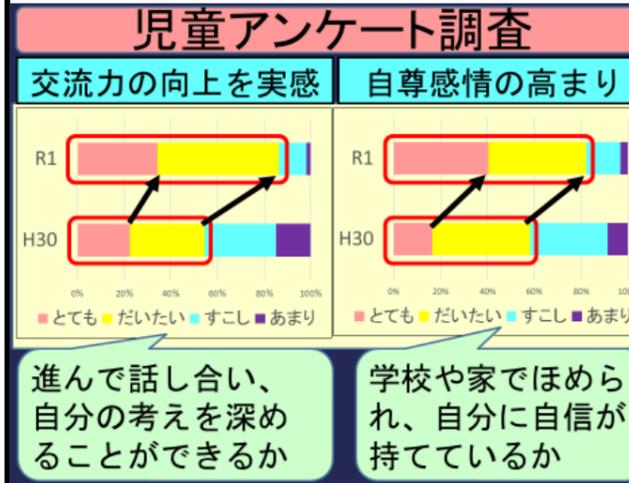
(資料3) 学校と家庭・地域の連携・協働した実践



(資料4) 学校と家庭・地域で実践の評価



(資料5) 児童の交流の力と自尊感情の向上



(資料6) 「古賀市版小中学校地域教材事例集」

